記入例（ＪＡひすいエコライス栽培に該当しない方）

様式第1号別紙2（参考様式第2号）

化学肥料低減計画書

作付概要

作物名	作付面積(ha)
水稲	1.0
その他	0.2
計	1.2

・作物名（水稲）と作付面積を記入してください。
・低減に取組まない作物は、その他に面積を記入してください。

化学肥料低減計画書提出先

JAひすい

注：提出する農業者グループ(肥料販売業者等)を記載すること

秋用肥料	春用肥料
○	

注：該当するものに○を付けること

氏名（法人・組織名）　ひすい　太郎
住所　糸魚川市大町1-3-4
電話番号　025－○○○-○○○○

い。
取組メニューが2つ以上必要です。そのうち
◎」で記入）を含むようにしてください。
3. 令和4年度において、全作付面積の半分以上を占める作物又はこれに準ずる作物群のうち2品目以上で、有機農産物や特別栽培農産物の第三者認証等を受けている、環境保全型農業直接支払の交付を受けているなどの化学肥料の2割低減を大幅に超える対応が行われている場合は、それを証明する書類を添付してください。（○や◎のチェックは不要です）

取組メニュー	前年度までの取組	令和4年度又は令和5年度の取組
ア　土壌診断による施肥設計		○（地域単位での土壌分析を想定）
イ　生育診断による施肥設計	○	○（栽培指針や指導会を参考にした施肥の実施）
ウ　地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ　堆肥の利用		
オ　汚泥肥料の利用（下水汚泥等）		
カ　食品残渣など国内資源の利用（エとオ以外）		
キ　有機質肥料（指定混合肥料等を含む）の利用		
ク　緑肥作物の利用		
ケ　肥料施用量の少ない品種の利用		
コ　低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ　可変施肥機の利用（ドローンの活用等も含む）		
シ　局所施肥（側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等）の利用		
ス　育苗箱（ポット苗）施肥の利用		
セ　化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し（ア～スに係るものを除く。）		
ソ　地域特認技術の利用（　　）		

私は、添付した領収書（請求書）等記載の肥料（肥料費）について以下のとおり、確約します。

☑ **令和4年秋肥又は令和5年春肥として確実に購入し、自らの農業生産に使用します。**

※チェック欄にチェックした上で署名してください。

氏名（自署）　ひすい　太郎

添付書類確認　発注したことを証明する書類（注文票等）☐　肥料費を支払ったことを証明する書類（領収書等）☐　化学肥料の２割縮減を大幅に超える取組を証明する書類（有機農産物、特別栽培農産物、環直交付金等の認証書類）☐

（注）　当年の肥料費は、秋用肥料については令和4年6月～10月、春用肥料については令和4年11月～令和5年5月に発注したことを証明する書類（注文票等）と、参加農業者が肥料費を支払ったことを証明する書類（領収書等）または支払い義務が生じていることを示す書類（請求書等）を提出すること。なお、肥料の種類、数量、購入費が記載されているものに限る。